

巣舞る通信



第23号
2013年12月

冬

はぐくむ 2014年スローガン「育夢創造Ⅳ」 数字のむこうに見えるもの 感動のフラクタル

常日頃は、大変お世話になっております。
2013年も大勢の皆様にご愛顧・ご支援いただきましたこと、心より感謝申し上げます。
高田建築事務所もあと3年で40周年と言う節目の年を迎えようとしています。40なる数字には特別の思いがあります。試練の数と言われているからです。40年間・40ヶ月・40日です。今から準備委員会の話し合いがもたれています。
この3年間をプレ40周年として、今までやってきたこと、これからやろうとしていることを私たちに与えられたニーズとして捉えしっかりと見極めて、皆様の巣舞づくりのアシスタントとしてまい進してまいりたいと思っております。巣舞づくりはなんと言っても人生の一大事業であるからです。今後ともよろしくご支援のほどお願い申し上げます。

弊社では毎朝始業前に朝礼をします。
2013年11月16日(土)の朝礼のときの報告では、弊社の交通事故無事故日数が234日で、現場災害ゼロ日数が2340日でした。2・3・4と2・3・4と数字が重なりました。たまたまの出会い数字にびっくり。
“おお〜フラクタル”* なんとなくほっとする一瞬でした。
無事故・無災害の数式が並ぶのは、とてもうれしいものです。
他愛のないと思われるかもしれませんが、234日も2340日も単なる数字の並びではなく、その紙背には並大抵でない努力が埋め込まれ、その日数にはとても重いものが重なっています。
千日も一日から：万歩も一歩から：であります。
数字のむこうに見えるもの、感動のフラクタル・・・

作家：小川洋子氏の小説「博士の愛した数式」を思い出している自分がいます。
交通事故による脳の損傷で記憶が80分しか持続しなくなってしまった元数学者「博士」と博士の新しい家政婦とその息子「ルート」の心のふれあいを美しい数式と共に描いた作品。
粗筋は家政婦紹介組合から派遣された先は、80分しか記憶が持たない元数学者「博士」の家だった。こよなく数学を愛し、他に全く興味を示さない博士に、家政婦は少なからず困惑する。ある日、10歳の息子がいることを知った博士は、幼い子供が独りぼっちで母親の帰りを待っていることに居たたまれなくなり、次の日からは息子を連れてくるようにと言う。次の日連れてきた息子の頭を撫でながら、博士は彼を「ルート」と名付け、その日から3人の日々は温かさに満ちたものになってゆく・・・。
数式の不思議と美しさが克明に描かれ読者を魅了します。
「博士」のモデルは放浪の天才数学者エルデシュとされています。
数学用語も沢山並べられており、全部は理解できないがなんとなくわかることで納得してしまう小説です。「ルート・虚数・階乗・友愛数・素数・双子素数・完全数・過剰数・不足数・三角数・等差級数・ルース＝アーン・ペア・メスセンヌ素数・サイクロイド曲線・ネイピア数・オイラーの公式」。

中でも説得力のある魅力的な友愛数はとても楽しい。友愛数(ゆうあいすう)とは、異なる2つの自然数の組で、自分自身を除いた約数の和が、互いに他方と等しくなるような数をいう。親和数とも呼ばれる。一番小さな友愛数の組は(220、284)である、と言われている。220の自分自身を除いた約数は、1,2,4,5,10,11,20,22,44,55,110で、和は284となる。一方、284の自分自身を除いた約数は、1,2,4,71,142で、和は220である。(ウィキペディア参照)

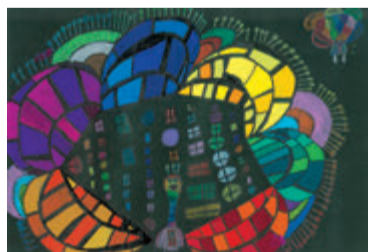
(この文章を書いている)ちょうどその日にM様邸の完成住宅のお引渡しがありました。お伺いすると、玄関に出てこられて、開口一番に「100点ですよ!」とおっしゃいました。
エッ!「私たちの巣舞づくりは完璧でした。ありがとうございます。」
奥様からは、「今度、家を建てる時はどの様にする?」
旦那様から、「今と同じ家がいい。寸分のくずれなく。」と!
1と0の配列でしかないのに、この場合の100は喜びの数字でもありました。

世の中のニュースにはとても重いものがあります。明るいニュースと言うよりも暗いニュースのほうが、圧倒的に多そうです。
しかし、建築をやっているととても嬉しいニュースが沢山あります。嬉しいニュースのひとつに、完成してお住まいになっている築縁さまからもらえる通知表・アンケートがあります。
そこにはコメントがかかれております。
「私達の思ったとおりのお家を造って下さり、ありがとうございます!」
「自分たちの思いをはるかに超越してつくっていただきました。」
「空間にとっても満足しています。」
「高田建築事務所さんをお願いしてよかったです。」
「出来上がった空間に感動しております。」
などなどはとても嬉しいアンケートです。建築屋冥利に尽きます。アフターサービスならぬスタートサービスの始まりです。

これからも夢と希望を持って、巣舞づくりを通して感動創造に励みたいと決意を新たにす次第です。来る2014年も多くのエールをいただけるようにスタッフ一同頑張りたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。
それでは皆様ご家族のご健康とご平安を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

(株)高田建築事務所
代表取締役社長
高田 清太郎

*フラクタルとは図形の部分と全体が自己相似になっているものをいいます。この言葉に出会ったのは宇宙飛行士の毛利衛さんの講演会でした。
「宇宙船の中でメダカの細胞を顕微鏡で見ていた時、ふっと窓からのぞいたときに見えたサハラ砂漠の砂紋が同じ形をしていた」ということでした。



最優秀賞
「ステンドクジャク」
小学校3年生
幸田 志歩さん

第2回KIDS絵画コンクール
「ぼくの、わたしの“ゆめのいえ”」
入賞作品

